

2026年8月6日

各 位

SBI損害保険株式会社

SBI損保、4年連続で「教員の民間企業研修」を実施、 次世代の金融リテラシー向上を支援

SBI損害保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：小野尚、以下「SBI損保」）は、教育現場の金融リテラシー向上に向けた継続的な取り組みとして、2026年8月5日（水）に東京都杉並区立学校の教員7名の皆さまを受け入れ、「教員の民間企業研修」（以下「本研修」）を実施しました。SBI損保による本研修の実施は、2023年から4年連続となります。

本研修は、保険やリスクマネジメントに関する講義を軸に、カードゲーム教材を用いた体験型学習、コンタクトセンターの視察、模擬対応ワークショップなど、「聞く・見る・体験する」を組み合わせた構成で実施いたしました。

加えて、今年は、業務変革を推進するイノベーション推進室による生成AIに関するプログラムを拡充して、SBI損保における生成AIの活用事例の紹介やMicrosoft 365 Copilotを用いた実践的なグループワークを行いました。このプログラムを通じて、生成AIの特性や教育現場での活用可能性についてお考えいただく機会を提供し、参加された教員の皆さまからは、「生成AIの活用について危険性も含めて教務に生かせる部分が大いと感じた」といったコメントが寄せられました。



▲代表取締役社長の小野が、損害保険業界の全体像やSBI損保が大切にしている価値観を紹介しました。

SBI損保は、金融・保険に関する啓発活動や次世代育成支援に継続的に取り組んでいます。今後も、教員の皆さまとの対話や体験型の学びの機会を設けさせていただくことによって、教育現場における金融リテラシー向上に貢献してまいります。

【 参加した教員の皆さまからのコメント 】

- ・金融・保険についての基礎的な知識は担当する社会科の内容と絡めて、授業を通して生徒たちに伝えていきたい。
- ・最新の生成AIに触れることができ、今後の参考になった。
- ・「発生確率」と「影響度」を軸にリスクを捉える考え方は、部活動の引率など、安全管理を行う際の判断材料として生かしたい。
- ・「ソナソナ」を小学生向けにアレンジし、授業で活用してみたい。
- ・社会貢献が人々を動かす原動力になることを改めて学んだので、今頑張っている勉強や人への思いやりが大人になるために必要であることを、子どもたちに強く伝えていきたい。
- ・電話対応について、保護者とのやりとりで取り入れられる工夫を勉強できた。

【 教員の民間企業研修について 】

本研修は、一般財団法人経済広報センター（本部：東京都千代田区、会長：筒井義信）が主催するものです。今年度は11都府県の教員約1,500人が76の企業・団体に赴き、研修に参加される見込みで、各企業・団体が策定した実践的な研修プログラムを通じて、教員の皆さまに企業活動や人材育成への理解を深めていただき、その学びが教育現場に還元されることを目的としています。「教員の民間企業研修」は1983年から実施されており、SBI損保は2023年より教員の皆さまの受け入れを実施しています。

◆ 研修内容詳細

開催日時：2026年8月5日（水）9:00～17:00

場所：SBI損保本社（東京都港区）、東日本コンタクトセンター（東京都新宿区）

参加者：杉並区立学校教員7名

▼社長あいさつ・会社紹介（代表取締役社長 小野尚）

損保業界の全体像、SBI損保の事業概要や成長戦略、グループシナジーを生かした取り組みについて、社長の小野が説明しました。また、企業の持続的な成長を支える“ES（従業員満足度）向上とCS（お客さま満足度）向上の好循環”の考え方にも触れました。

▼生成AIの基礎と活用体験（イノベーション推進室）



生成AIの基礎知識や、SBI損保における活用事例を紹介したうえで、Microsoft 365 Copilotを用いた教材作成などを実際に体験していただきました。グループごとに体験を通じて得た気づきや活用アイデアの発表を通じて、教育現場を含むさまざまな場面での応用可能性について意見を交わしていただきました。

▼保険と保険会社について（広報・サステナビリティ推進室）

備えるべきリスクや保険の存在意義、保険会社・商品の種類や仕組みなど、保険の基礎を体系的に解説しました。また、学校運営や教育活動の参考としていただけるよう、組織マネジメントについても紹介しました。

▼ソナソナ（カードゲーム教材）を用いた体験型金融教育（広報・サステナビリティ推進室）



一般社団法人日本損害保険協会と公益財団法人生命保険文化センターが共同制作したカードゲーム「ソナソナ」を活用し、日常生活に潜むさまざまなリスクへの備えや、その手段の一つである保険の役割について体験的に学んでいただきました。また、学校現場での活用も見据え、日本損害保険協会が提供する教育教材や授業支援コンテンツについても紹介しました。

▼サステナビリティ推進の最新事例（広報・サステナビリティ推進室）

テクノロジーの活用やアライアンスを通じた新たな価値提供による社会課題の解決、地方創生への貢献、スポーツ・文化振興、次世代育成支援、ダイバーシティ推進に向けた障害啓発活動など、SBI損保のサステナビリティ活動を事例とともに紹介しました。あわせて、近年関心の高まるコーポレート・ガバナンスについても、具体的な取り組みを交えて解説しました。

▼コンタクトセンター視察と顧客対応のワークショップ（カスタマーサービス本部）



お客さま対応の最前線であるコンタクトセンターを見学していただきました。その後、現役オペレーターを講師に迎え、お客さま役・オペレーター役に分かれて、自動車保険の契約に関するお問い合わせを想定した模擬応対を体験いただきました。お客さまに寄り添う対応力や、傾聴の重要性について、実践を通じてご理解を深めていただく時間となりました。

以上

◆SBI損保について

SBI損保は総合的な保険事業を展開するSBIインシュアランスグループの一員で、「新しい時代に、新しい保険を」という企業理念のもと、最先端の保険商品と最高水準のサービスを提供することで、お客さまに「安心と安全」をお届けしています。テクノロジーの力で新たな価値を創造し、SBIグループ各社のシナジーを発揮することでさらなる飛躍に向けチャレンジし続けます。

【 会社概要 】

商号	SBI損害保険株式会社
本社所在地	東京都港区六本木 1-6-1
設立	2006 年 6 月 1 日
資本金	110 億円
事業内容	損害保険業
URL	https://www.sbsonpo.co.jp/

◆SBIインシュアランスグループについて

SBIインシュアランスグループは、日本のインターネット金融のパイオニアであるSBIグループの保険事業を担う企業グループです。保険持株会社であるSBIインシュアランスグループ株式会社（東証グロース市場上場）のもと、SBI損保を含む事業会社 8 社が一体となって総合的な保険事業を展開しています。

「顧客中心主義」の徹底という基本方針のもと、保険分野におけるさまざまな付加価値を創造し、さらなる顧客基盤の拡大を続けることで企業価値の向上に努めます。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

SBI損害保険株式会社 広報・サステナビリティ推進室

TEL：03-6850-7856

E-mail：[sbisonpo_pr@sbisonpo.co.jp](mailto:sbsonpo_pr@sbisonpo.co.jp)